

学校教育目標 —心豊かでたくましい児童の育成—

児童像

- 進んで学習に取り組む子
- 思いやりのある子
- 元気な子

学校像

- 明るくやる気あふれる学校
「笑顔いっぱい山崎小」

教師像

- 児童のよさに気づき、認め励ます教職員
- 互いに学びあい高めあう教職員
- 保護者・地域から信頼される教職員

学校経営方針

- 1 「確かな学力」の定着と向上を図る。(学力向上)
- 2 豊かな心を育み、自己有用感を高める。(自己有用感の育成)
- 3 自ら健康に留意し、健やかな体をつくる。
- 4 地域や保護者に信頼される学校づくりに努める。
- 5 教育公務員の自覚と誇りを持ち、心身ともに健康な明るい職場をつくる。

1 確かな学力の定着と工場を図る。

- ①わかりやすく、魅力のある授業を目指し、教材研究に努める。(板書・ノート指導)
- ②教員の授業力向上のため、お互いが授業を見合うオープン授業(旧学期に1度以上)を実施する。
- ③1人1授業の公開を実施する。(校内研授業者の同単元の中から略案で実施)
- ④学習の基礎基本を身につけさせるため一人一人の状況を把握し、指導形態を工夫したり、スタディールームの活用をしたりする。

2 一人一人を認め、自己有用感を育成する。

- ①「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ち良い元気な挨拶、返事ができる。
- ②一人一人の良さや可能性を認め、励まし、褒め、みんなの役に立っているという自己有用感を育てる。
- ③特別の教科道徳を要として、体験学習の充実を図り、思いやりのある心優しい子どもを育む。
- ④いじめの早期発見、早期解決に努める。
- ⑤特別支援の視点から合理的配慮やユニバーサルデザインに取り組む。

3 体力の増進と安全・安心な学校をつくる。

- ①児童一人一人に健康の重要性を理解させ、自ら病気やけがの予防に取り組むように指導を工夫する。
- ②日々の安全指導を徹底し、交通事故、校内事故防止に努める。
- ③朝の体操に取り組み、体を目覚めさせ、日中の活動に元気に取り組みさせる。また、学年に応じた体力づくりをする。
- ④安全で清潔な学校環境の確保・点検・整備に努める。
- ⑤「いかのおすし」を常に意識させ、不審者に対して、適切な対応がとれるようにする。

4 学校・家庭・地域と共に歩む学校をつくる。

- ①ホームページや学校だより等、学校からの情報発信を積極的に行い、学校教育活動への理解を高める。
- ②教育活動の参観により開かれた学校を築き、学校・家庭・地域の連携を深める。
- ③地域の人材を生かした学習に取り組み、地域に根ざした学校づくりをする。
- ④小中連携、幼小連携を深めていく。

5 「チーム山崎」による明るい職場をつくる。

- ①「チーム山崎」のスローガンのもと業務の効率化を図り、明るい職場づくりに努める。
- ②当事者意識を高く持ち、不祥事は起こさないように研修を重ねる。
- ③毎週水曜の「ノー残業デー」を遵守し、時間外勤務の短縮を図る。
- ④報告・連絡・相談・報告を徹底し、機動力のある校内組織をつくる。

【校内研究テーマ】

自ら学ぶ意欲をもった児童の育成 ～実態に応じた学びの場を工夫して～

- 【低学年】算数: 数学的楽しさやよさに気づくことができる子
国語: 言葉がもつ良さを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
- 【中学年】算数: 学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする子
国語: 言葉がもつよさに気づくとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
- 【高学年】算数: 算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする子
国語: 国語がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。